



ARIN44 レポート

第37回 JPNICオープンポリシーミーティング(2019/11/27)

開催概要

- 日時：2019年10月31日～11月1日
 - NANOG77(10/28～30)の直後に開催
- 会場：アメリカ・オースティン(テキサス州)
 - JW Marriott Austin
- 参加登録者数：146名
 - リモート参加登録：44名
 - 前回ARIN43：109名
 - リモート参加登録：34名

プログラムの構成

- Report
 - Policy Implementation and Experience,
 - Internet Number Resource Status,
 - IETF
 - NRO Activities
 - History (and Future) of IPv6 Outreach
 - ARIN Community Grant Program
 - IRR and RPKI Update
- Policy discussion
- Member Meeting

NANOG77



ARIN44



アドレスポリシーに関する議論①

- コンセンサスを確認する提案

- (Recommended Draft Policy)

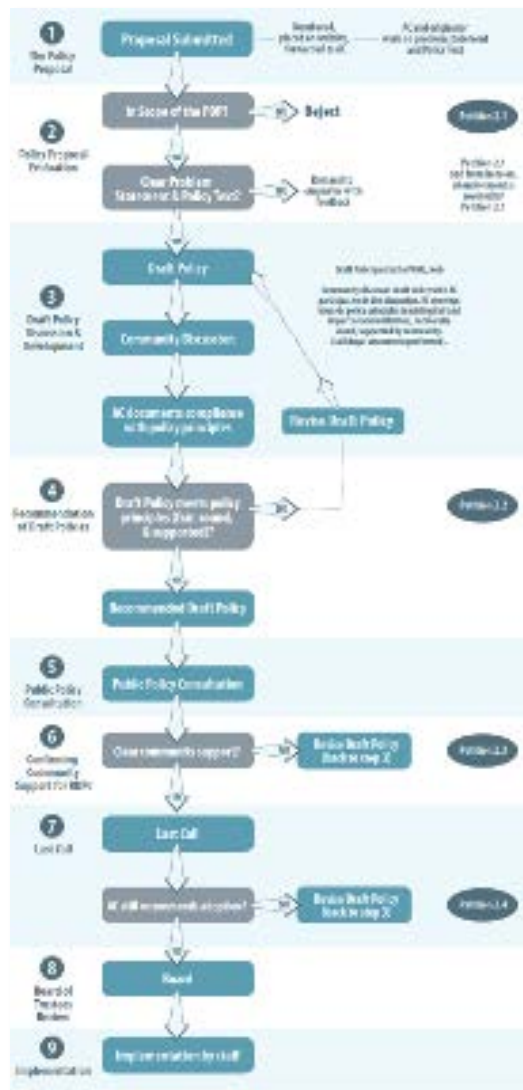
- ARIN-2018-6: 再割り当てにおける要件の明確化
 - ARIN-2019-1: IPv4アドレスの再度の分配までの期間を明確化
 - ARIN-2019-3: IPv6対応のためのIPv4アドレス分配のルール変更
 - ARIN-2019-8: 複数のネットワークを運用する組織へのIPv4アドレス分配基準
 - ARIN-2019-10: レジストリ管轄地域間の事業譲渡や吸収合併
 - ARIN-2019-15: 割り当て先組織により承認された一時的なIPアドレス利用

アドレスポリシーに関する議論②

- コンセンサスを確認しない提案(Draft Policy)
 - ARIN-2019-12: 事業譲渡や吸収合併における司法権の適用除外
 - ARIN-2019-13: ARINメンバーシップにおける司法権の適用除外
 - ARIN-2019-17: 返却アドレスを「IPv6展開を促進するための専用IPv4プール」で管理
 - ARIN-2019-18: 接続しないネットワークへのIPアドレス割り当て

ARIN地域のポリシー策定プロセス

<https://www.arin.net/policy/pdp.html>



- ARIN Policy Development Process
- 議論はARIN Advisory Council(ARIN AC)が進める
- オンサイトミーティングでは他のACからの**厳しい**コメントも
- オンサイトミーティング、MLでの議論内容を踏まえて、複数回のACによる検討
- 検討の結果を元にプロセスを進めるかどうかの判断を行う

IPv4割り振り待機者リストに関する議論①

- ARIN-2019-16: Advisory Council Recommendation Regarding NRPM 4.1.8. Unmet Requests

https://www.arin.net/vault/policy/proposals/2019_16.html

- 内容

- 待機者リストでの割り振りは/22以下に限定
- 待機者リストへの掲載は、分配済みIPv4アドレスサイズが/20以下の組織に限定
- このリストにより割り振りを受けたIPv4アドレスは、60ヶ月間移転禁止

IPv4割り振り待機者リストに関する議論②

- 旧ルールでの運用を一時停止(2019/02/07)
 - 理事による検討の結果、ACへ検討を依頼
 - リストの誤った利用を懸念
- コメント・議論
 - 割り振りを受ける可能性が増加するため賛成
 - 新規参入組織などには機会の増大につながる
 - IPv4アドレスの確保は市場に委ねては？
 - 次第にIPv4は必要ではなくなるとの予測で、枯渇直後のみの運用を想定
- 今後の状況を見て運用見直しも検討

コンセンサスの確認なし

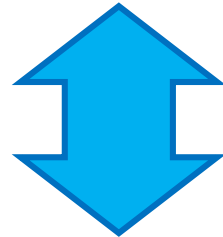
IPv4アドレスのリースに関する議論①

- 現在のIPアドレス割り当ての原則
 - ARIN会員自身のネットワークに接続するユーザや配下のISPにIPアドレスを割り当て
 - この原則が経路集成に寄与
- Draft Policy ARIN-2019-18
 - 接続しないネットワークへのIPアドレス割り当て
https://www.arin.net/participate/policy/drafts/2019_18/
- 内容
 - ARIN会員のネットワークに接続していない組織が運用するネットワークに、IPアドレスを割り当てることを可能とする

IPv4アドレスのリースに関する議論②

- 議論

- 経路情報の集成維持のためにも反対



- リースは現実起きておりルールを整備すべき
 - 移転よりも低コストでアドレスを確保できる手段としてニーズは出てきている
 - ARINの役割は正確な台帳管理。この目的達成のためには必要
 - ポリシーへの記載方法は慎重に検討が必要

コンセンサスの確認なし

IPv4アドレスに関する議論①

- Recommended Draft Policy ARIN-2019-1
 - IPv4アドレスの再度の分配までの期間を明確化
https://www.arin.net/participate/policy/drafts/2019_1/
- 内容
 - 割り振り・割り当て申請までの期間を明確化
 - 他の組織に移転した場合：36カ月後
 - 通常の割り振り・割り当てを受けた場合：3カ月後
- 議論
 - 用語の定義に関する内容が中心

賛成17／反対1 (全体114)

IPv4アドレスに関する議論②

- Recommended Draft Policy ARIN-2019-3

- IPv6対応のためのIPv4アドレス分配のルール変更
https://www.arin.net/participate/policy/drafts/2019_3/

- 内容

- IPv6を実装するために必要なIPv4アドレスの分配サイズの変更
 - (現状)最小/28～最大/24
 - (変更後)最小/24とし、/21を上限とする

- 議論

賛成29／反対1 (全体120)

- 逆引きDNS、RPKIの運用のためには必要
- 現状に即さない内容は見直されるべきとの意見

IPv4アドレスに関する議論③

- Recommended Draft Policy ARIN-2019-8

- 複数ネットワークを運用する組織へのIPv4アドレス分配基準
https://www.arin.net/participate/policy/drafts/2019_8/

- 内容

- 独立したネットワークを複数運用する組織の場合、1ネットワークあたり/24を6ヶ月ごとに受け取れる(6ヶ月間の上限を/21とする)

- 議論

- 曖昧な記述を修正することに賛成
- 申請の際に利用率を確認するため、不正取得にはつながらない

賛成32／反対0 (全体102)

IPv4アドレスに関する議論④

- Draft Policy ARIN-2019-17

- 返却アドレスをIPv6展開を促進するための専用IPv4プールで管理
https://www.arin.net/participate/policy/drafts/2019_17/

- 内容

- ARINへの返却アドレスは今後全て、「IPv6展開を促進するための専用IPv4プール」で管理
 - 現在は、割り振りの根拠となった条項ごとにあるプールに戻り管理が行われている

- 議論

賛成3／反対19（全体110）

- 現在の利用状況にあわせたプールの活用を
 - このプールからの分配が減ることを希望

次回以降のARINミーティング

- ARIN45

- 日時：2020年4月26日～29日
- 会場：アメリカ・レイビル(ケンタッキー州)

- ARIN46

- 日時：2020年10月22日～23日
 - NANOG80(10/19～21)の直後に開催
- 会場：アメリカ・シアトル(ワシントン州)

- ARINミーティング Webページ

<https://www.arin.net/participate/meetings/>

参考リンク

- ARIN44 Webページ(動画・資料)

https://www.arin.net/vault/participate/meetings/reports/ARIN_44/

- アドレスポリシー提案一覧

https://www.arin.net/policy/proposals/policy_proposal_archive.html

- JPNICブログ

- 分配ポリシーに関する提案ご紹介

<https://blog.nic.ad.jp/2019/3397/>

- JPNICメールマガジン

- vol.1727 : ARIN 44/NANOG 77 報告

<https://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/2019/vol1727.html>